



SUPER
FORMULA

PRESS INFORMATION



2014年9月28日
株式会社日本レースプロモーション

2014年全日本選手権スーパーフォーミュラシリーズ
9月28日(日)第6戦スポーツランドSUGO大会決勝レース結果速報

ルーキー野尻 智紀(ドコモ チーム ダンディライアン レーシング)初優勝を飾る!

2014年全日本選手権スーパーフォーミュラシリーズ第6戦スポーツランドSUGO大会決勝レースが、9月28日(日)宮城県 スポーツランドSUGO インターナショナル レーシングコースで行われ、1周3.704kmのコースを68周、計251.88kmで争われた。

レースは、ルーキーの野尻 智紀(ドコモ チーム ダンディライアン レーシング)が好スタートでトップに立ち、給油とタイヤ交換のためのピットインで一時4位まで順位を落としたものの、レース終盤65周目に再びトップに浮上。そのまま1時間25分21秒590(平均時速177.055km/h)で走り切り初優勝を飾り、同時にホンダレーシングエンジン(Honda HR-414E)が初優勝を記録した。

2位には中嶋 一貴(ペトロナス・チーム・トムス)が1時間25分23秒460で続き、3位はロイック・デュバル(キグナス スノコ チーム ルマン)1時間25分27秒096だった。

注目のシリーズランキングドライバー部門では、中嶋 一貴(ペトロナス・チーム・トムス)33ポイントでシリーズを一步リード。2番手はジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ(レノボ チーム インパル)で29ポイント。続いてアンドレ・ロッテラー(ペトロナス・チーム・トムス)とロイック・デュバル(キグナス スノコ チーム ルマン)が26.5ポイントで3番手に並んでいる。

*詳細は添付公式通知「SUPER FORMULA 決勝レース正式順位結果表」をご参照ください。



初優勝を飾った野尻 智紀(ドコモ チーム ダンディライアン レーシング)

Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

BRIDGESTONE

Promotion Partner

HITACHI **J SPORTS** スカイJSAT セディナ DNP 大日本印刷 **ニッポン一徹** 人気酒造

NO.	ドライバー 生年月日 国籍 (出身地)	エントラント名 監督名	車両名 (エンジン)
1	山本 尚貴 Naoki Yamamoto 1988. 7. 11 日本 (栃木県)	TEAM 無限 (チーム無限) 手塚 長孝	TEAM 無限 SF14 (Honda HR-414E)
2	中山 友貴 Yuhki Nakayama 1987. 7. 29 日本 (石川県)		
3	ジェームス・ロシター James Rossiter 1983. 8. 25 イギリス	KONDO RACING (コンドーレーシング) 近藤 真彦	フジ・コーポレーション KONDO SF14 (TOYOTA R14A)
7	平川 亮 Ryo Hirakawa 1994. 3. 7 日本 (広島県)	KYGNUS SUNOCO Team LeMans (キグナス スノコ チームルマン) 土沼 広芳	ACHIEVEMENT Team KYGNUS SUNOCO SF14 (TOYOTA R14A)
8	ロイク・デュバル Loic Duval 1982. 6. 12 フランス		Team KYGNUS SUNOCO SF14 (TOYOTA R14A)
10	塚越 広大 Koudai Tsukakoshi 1986. 11. 20 日本 (栃木県)	HP REAL RACING (エイチピー リアルレーシング) 金石 勝智	HP SF14 (Honda HR-414E)
11	ヴィンタントニオ・リウッツィ Vintantonio Liuzzi 1981. 8. 6 イタリア		
18	中山 雄一 Yuichi Nakayama 1991. 7. 25 日本 (東京都)	KCMG (ケーシー エム ジー) 土居 隆二	KCMG Elyse SF14 (TOYOTA R14A)
19	ジョアオ・バオロ・デ・オリベイラ Joao Paulo de Oliveira 1981. 7. 13 ブラジル	Lenovo TEAM IMPUL (レノボ チーム インパル) 星野 一義	Lenovo TEAM IMPUL SF14 (TOYOTA R14A)
20	クマール・ラム・ナレイン・カーティケヤン Kumar Ram Narain Karthikeyan 1977. 1. 14 インド		
31	中嶋 大祐 Daisuke Nakajima 1989. 1. 29 日本 (愛知県)	NAKAJIMA RACING (ナカジマレーシング) 中嶋 悟	NAKAJIMA RACING SF14 (Honda HR-414E)
32	小暮 卓史 Takashi Kogure 1980. 8. 1 日本 (群馬県)		
34	伊沢 拓也 Takuya Izawa 1984. 6. 1 日本 (東京都)	DRAGO CORSE (ドラゴ コルセ) 道上 龍	DRAGO CORSE SF14 (Honda HR-414E)

NO.	ドライバー 生年月日 国籍 (出身地)	エントラント名 監督名	車両名 (エンジン)
36	アンドレ・ロッテラー Andre Lotterer 1981. 11. 19 ドイツ	PETRONAS TEAM TOM'S (ペトロナス・チーム・トムス) 舘 信秀	PETRONAS TOM'S SF14 (TOYOTA R14A)
37	中嶋 一貴 Kazuki Nakajima 1985. 1. 11 日本 (愛知県)		
38	石浦 宏明 Hiroaki Iishiura 1981. 4. 23 日本 (東京都)	PMU/CERUMO/INGING SF14 (プロミュー/セルモ・インギング) 立川 祐路	P.MU/CERUMO/INGING SF14 (TOYOTA R14A)
39	国本 雄資 Yuji Kunimoto 1990. 9. 12 日本 (神奈川県)		
40	野尻 智紀 Tomoki Nojiri 1989. 9. 15 日本 (茨城県)	DOCOMO TEAM DANDELION RACING (ドコモ チーム ダンディライアン レーシング) 村岡 潔	DOCOMO DANDELION M40T SF14 (Honda HR-414E)
41	武藤 英紀 Hideki Mutoh 1982. 10. 6 日本 (東京都)		
62	嵯峨 宏紀 Koki Saga 1983. 4. 25 日本 (愛知県)	TOCHIGI Le Beausset Motorsports (とちぎ・ル・ポーセ モータースポーツ) 坪松 唯夫	DENSO Le Beausset SF14 (TOYOTA R14A)

2014年シリーズ選手権 ポイントシステム

順位	優勝	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位以下	P. P.
1大会1レース	10	8	6	5	4	3	2	1	0	1
1大会2レース	5	4	3	2.5	2	1.5	1	0.5	0	1

*P. P. : ポールポジション (予選1位) には、ドライバーにのみ1ポイントが与えられる。チームポイントには加算されない。

1大会2レース制の場合、レース1、レース2共に1レース制の得点の半分が与えられる。

*最終戦 (第7戦) 鈴鹿大会に限り、レース1、レース2の勝者には通算ポイント別に3ポイントが与えられる。これによりポールポジション+2連勝で最大18ポイントが与えられる。

*最終戦終了時点で、複数のドライバーまたはチーム (エントラント) が同一ポイントを獲得している場合は、高得点を得た回数が多い順に順位を決定する。

—ご参考—

1. スーパーフォーミュラ

全日本選手権スーパーフォーミュラシリーズは、純然たるレーシングマシンであるオープン・シングルシーターのフォーミュラカーによって競われる国内最高峰の自動車レース。一般社団法人日本自動車連盟 (JAF) が公認し、株式会社日本レースプロモーションのプロモートによりフォーミュラ・ニッポンとして1996年にスタート。2013年より名称をスーパーフォーミュラに変更した。

Series Partner

HONDA TOYOTA

Series Supporter

BRIDGESTONE

Promotion Partner

HITACHI     

2. シリーズ賞典

シリーズ賞典は、年間チャンピオン ドライバーには、株式会社日本レースプロモーションより、賞金とシリーズ ドライバーズチャンピオンカップが授与されるほか、自由民主党モータースポーツ振興議員連盟より同連盟杯が贈られ、観光庁より観光庁長官杯が交付される。また年間チャンピオンチームには、経済産業省より経済産業大臣杯が交付され、株式会社日本レースプロモーションより賞金が授与される。

3. レース車両 (SF14)

今シーズンより新型車両 (SF14) を導入。シャシーはダラーラ・オートモービル社 (イタリア) 製でタイヤはブリヂストンのワンメイク。新開発エンジンは排気量2リッター、直列4気筒直噴ターボ過給エンジンでHonda HR-414EまたはTOYOTA R14Aを使用する。

4. オーバーテイクシステム (OTS)

燃料リストラクターシステム (燃料流量規制システム) を活用し、約20秒間燃料供給量を上げて約5%エンジン出力をアップさせ、オーバーテイクを補助するシステム。ステアリングにあるボタンで操作し、本大会では決勝レース中5回まで使用できる。使用中はドライバーのヘルメットの後方にあるランプが点滅し、観客からも視認できる。またポイントリーダードライバーは、赤色のオーバーテイクランプ (リーダーズレッド) を装着している。OTSはスーパーフォーミュラ独自の仕組み。

2014年全日本選手権スーパーフォーミュラシリーズ開催スケジュール

日程	ラウンド/サーキット	予選方式	決勝レース方式
4/ 12~13	第1戦/鈴鹿サーキット	ノックアウト	250km
5/ 17~18	第2戦/富士スピードウェイ	ノックアウト	2レース制
7/ 12~13	第3戦/富士スピードウェイ	ノックアウト	250km
8/ 23~24	第4戦/ツインリンクもてぎ	ノックアウト	250km
9/ 13~14	第5戦/オートポリス	ノックアウト	220km
9/ 27~28	第6戦/スポーツランドSUGO	ノックアウト	250km
11/ 8~ 9	第7戦/鈴鹿サーキット	ノックアウト	2レース制

—開催概要—

- 大会名 : 2014 全日本選手権スーパーフォーミュラ シリーズ第6戦 スポーツランド SUGO
- 併 催 : 2014 全日本フォーミュラ3選手権 第12戦・第13戦
JAF 東北スーパーFJ 選手権 第5戦
GAZOO Racing Netz Cap Vitz Race 2014 東北シリーズ第3戦
N-ONE OWNERS CUP Round 5
SUGO ロードレースシリーズ第5戦 (CBR 250 R Dream CUP & ST 250 クラス)
- 開催日 : 2014年9月27日 (土) ~ 9月28日 (日)
- 開催地 : スポーツランドSUGO インターナショナルレーシングコース (宮城県)
(決勝レース距離: 3, 704m/1周 × 68周 = トータル251, 88km)
- 主 催 : 株式会社 菅生 / 菅生スポーツクラブ (SSC)
- 公 認 : 国際自動車連盟 (FIA) / 一般社団法人日本自動車連盟 (JAF)
- 認 定 : 株式会社日本レースプロモーション (JRP)
- 後 援 : 公益社団法人 宮城県軽自動車連盟
村田町
河北新報社
名取市

- 観戦券 : 2日間通し前売り観戦券 ¥4,200より
*中学生以下入場無料
*お問い合わせ: スポーツランドSUGO
(TEL:0224-83-3111 FAX:0224-83-3790)
*チケット詳細、イベント内容などはスポーツランドSUGO web サイトをご参照ください。
http://www.sportsland-sugo.jp/watch/contents/2014/01/20140108_1166.html

【TV放映予定】

{お願い} 放送日、放送時間は予告なく変更される場合がありますので、SF公式ホームページ (<http://www.superformulanet/>) でご確認ください。

- 「J SPORTS」 : 全戦決勝レースをライブ中継。また決勝レースのリピート放送やレースダイジェスト番組も放送。
 - ・9月27日(土) 14:00~16:00 全日本選手権スーパーフォーミュラ第6戦 予選(生中継)
 - ・9月28日(日) 14:30~17:30 全日本選手権スーパーフォーミュラ第6戦 決勝(生中継)
- *リピート放送、レースダイジェスト番組は、スーパーフォーミュラオフィシャルウェブ (<http://www.superformulanet/>) またはJ SPORTSホームページ (http://www.jsports.co.jp/program_guide/month/japanese/c_month14.html) にてご確認ください。
- 「BSフジ」: 大会ごとに55分間の「スーパーフォーミュラ」特集を放送。
 - ・10月4日(土) 16:00~16:55 (本放送)
 - ・10月10日(金) 24:00~24:55 (再放送)
- フジテレビONE/TWO/NEXT
 - ・10月3日(金) 19:00~19:30 第6戦・スポーツランドSUGOハイライト (NEXT)
 - *リピート放送の放送日、放送時間はフジテレビオフィシャルウェブ (http://www.fujitv.co.jp/otn/b_hp/914200066.html) でご確認ください。
- YAHOO! GyaO!
 - *大会終了10日後よりスーパーフォーミュラの決勝レースを全戦オンデマンド (<http://gyao.yahoo.co.jp/>) で放送。

この件に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

株式会社日本レースプロモーション (<http://www.superformulanet/>)

102-0074 東京都千代田区九段南2-3-25 平安堂ビル

e-mail : media@superformulanet

Tel:03-3237-0131 Fax:03-3237-0135



2014 Japanese Championship SUPER FORMULA Series Round 6
2014 全日本選手権 スーパーフォーミュラシリーズ 第6戦

2014 全日本フォーミュラ3選手権 第12戦・第13戦
GAZOO Racing Netz Cup Vitz Race 2014 東北シリーズ 第3戦
N-ONE OWNER'S CUP Round 5/JAF 東北スーパーFJ選手権 第5戦
SUGO ロードレースシリーズ 第5戦 CBR250R Dream Cup & ST250クラス
主催:株式会社菅生/菅生スポーツクラブ(S.S.C) 公認:一般社団法人 日本自動車連盟(JAF)後援:公益社団法人 宮城県観光連盟/村田町/名取市/河北新報社

全日本
No. 21

9/27 sat 28 sun

主催: 菅生/菅生スポーツクラブ (S.S.C)



2014 全日本選手権
スーパーフォーミュラシリーズ 第6戦 決勝レース 正式順位結果表

START : 15:03
FINISH : 16:28
発表 17:35

2014.09.28	SUGO INTERNATIONAL RACING COURSE (3.704256km)			天候: 晴れ	コース状況: ドライ				
Pos	No.	Driver	CarName	Type	Laps	Time	Delay	Ave.km/h	Fastest Lap
1	40	野尻 智紀	DOCOMO DANDELION M40T SF14	Honda HR-414E	68	1h25' 21.590		177.055	1'07.419 62
2	37	中嶋 一貴	PETRONAS TOM'S SF14	TOYOTA R14A	68	1h25' 23.460	1.870	176.990	1'07.715 64
3	8	ロイク・デュバル	Team KYGNUS SUNOCO SF14	TOYOTA R14A	68	1h25' 27.096	5.506	176.865	1'07.917 68
4	3	ジェームス・ロスター	フジ・コーポレーション KONDO SF14	TOYOTA R14A	68	1h25' 37.665	16.075	176.501	1'08.181 55
5	31	中嶋 大祐	NAKAJIMA RACING SF14	Honda HR-414E	68	1h25' 38.374	16.784	176.476	1'08.286 64
6	38	石浦 宏明	P.MU/CERUMO-INGING SF14	TOYOTA R14A	68	1h25' 39.103	17.513	176.451	1'08.090 67
7	1	山本 尚貴	TEAM 無限 SF14	Honda HR-414E	68	1h25' 39.248	17.658	176.446	1'07.964 68
8	7	平川 亮	ACHIEVEMENT Team KYGNUS SUNOCO SF14	TOYOTA R14A	68	1h25' 41.667	20.077	176.363	1'07.602 63
9	39	国本 雄資	P.MU/CERUMO-INGING SF14	TOYOTA R14A	68	1h25' 46.045	24.455	176.213	1'07.385 54
10	32	小暮 卓史	NAKAJIMA RACING SF14	Honda HR-414E	68	1h25' 46.687	25.097	176.191	1'07.828 56
11	20	クマール・ラム・ナレイン・カーティヤン	Lenovo TEAM IMPUL SF14	TOYOTA R14A	68	1h25' 48.372	26.782	176.134	1'07.803 65
12	* 41	武藤 英紀	DOCOMO DANDELION M41Y SF14	Honda HR-414E	68	1h25' 58.522	36.932	175.787	1'07.671 57
13	18	中山 雄一	KCMG Elyse SF14	TOYOTA R14A	68	1h26' 02.126	40.536	175.664	1'06.743 67
14	2	中山 友貴	TEAM 無限 SF14	Honda HR-414E	68	1h26' 16.968	55.378	175.161	1'08.126 53
----- 以上完走 -----									
	62	嵯峨 宏紀	DENSO Le Beausset SF14	TOYOTA R14A	28	40' 03.773	40 Laps	155.335	1'09.255 16
	11	ヴァイトニオ・リウツィ	HP SF14	Honda HR-414E	22	32' 59.039	46 Laps	148.242	1'09.191 15
	10	塚越 広大	HP SF14	Honda HR-414E	14	20' 24.037	54 Laps	152.524	1'09.090 13
	36	アンドレ・ロツテラー	PETRONAS TOM'S SF14	TOYOTA R14A	0		68 Laps		
	19	ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ	Lenovo TEAM IMPUL SF14	TOYOTA R14A	0		68 Laps		
	34	伊沢 拓也	DRAGO CORSE SF14	Honda HR-414E	0		68 Laps		

参加台数: 20台 出走台数: 20台 完走台数: 14台

ベストラップ: 18 中山 雄一 1'06.743 67/68 199.801km/h

セーフティカー導入 ①15:03.59~15:11.49 ②15:26.01~15:35.11

※No.41の車両は、国際モータースポーツ競技規則付則H項第2章2.9.10違反(SC中の追越し)により、ドライビングヘルメットが科された。(裁定時刻15:45)

計時委員長

(Shigemi Emoto)

大会競技長

(Yasushi Otani)

審査委員長

(Masayoshi Oka)

Series Partner: HONDA TOYOTA Series Supporter: BRIDGESTONE Promotion Partner: HITACHI セディナ J SPORTS DNP 大日本印刷 スーパーJSAT NIKKO LIGHT 人気雑誌

Japanese Championship SUPER FORMULA Series Ranking 2014

第6戦終了時点

ドライバーズ・ポイントランキング

Po.	No.	Driver	Points	Gap	4/13	5/18	7/13	8/24	9/14	9/28	11/9
					SUZUKA Rd.1	FUJI Rd.2-1	FUJI Rd.2-2	FUJI Rd.3	MOTEGI Rd.4	AUTOPOLIS Rd.5	SUGO Rd.6
1	37	中嶋一貴	33		3	4	3	10	2	3	8
2	19	J.P.デ・オリベイラ	29	-4	2	6	4	0	11	6	0
3	36	A.ロッテラー	26.5	-6.5	5	2.5	6	3	—	10	0
4	8	ロイック・デュバル	26.5	-6.5	10	3	2.5	—	5	0	6
5	38	石浦宏明	23	-10	6	0	0	5	8	1	3
6	3	J.ロシター	20.5	-12.5	8	1.5	0	1	1	4	5
7	39	国本雄資	17	-16	0	2	1	6	0	8	0
8	7	平川亮	14.5	-18.5	5	0	0.5	8	0	0	1
9	1	山本尚貴	12	-21	0	0	2	4	0	3	3
10	40	野尻智紀	10	-23	0	0	0	0	0	0	10
11	10	塚越広大	8	-25	0	0	0	0	3	5	0
12	8,36	A.カルダレッリ	7	-26	—	—	—	1	6	—	—
13	20	N.カーティケヤン	4.5	-28.5	0	1	1.5	2	0	0	0
14	31	中嶋大祐	4	-29	0	0	0	0	0	0	4
15	41	武藤英紀	4	-29	0	0	0	0	4	0	0
16	11	V.リウツィ	1.5	-31.5	1	0.5	0	0	0	0	0
17	32	小暮卓史	0	-33	0	0	0	0	0	0	0
18	18	中山雄一	0	-33	0	0	0	0	0	0	0
19	2	中山友貴	0	-33	0	0	0	0	0	0	0
20	62	嵯峨宏紀	0	-33	0	0	0	0	0	0	0
21	34	伊沢拓也	0	-33	—	—	—	—	—	—	0

※太字は優勝、下線はP.P.

※中止

全戦が有効

チーム・ポイントランキング

Po.	No.	Team	Points	Gap	4/13	5/18	7/13	8/24	9/14	9/28	11/9
					SUZUKA Rd.1	FUJI Rd.2-1	FUJI Rd.2-2	FUJI Rd.3	MOTEGI Rd.4	AUTOPOLIS Rd.5	SUGO Rd.6
1	36,37	PETRONAS TEAM TOM'S	63.5		7	6.5	8	13	8	13	8
2	7,8	KYGNUS SUNOCO Team LeMans	41	-22.5	15	3	3	8	5	0	7
3	38,39	P.MU/CERUMO-INGING	40	-23.5	6	2	1	11	8	9	3
4	19,20	Lenovo TEAM IMPUL	31.5	-32	2	6	5.5	2	10	6	0
5	3	KONDO RACING	20.5	-43	8	1.5	0	1	1	4	5
6	40,41	DOCOMO TEAM DANDELION RACING	14	-49.5	0	0	0	0	4	0	10
7	1,2	TEAM 無限	10	-53.5	0	0	2	4	0	2	2
8	10,11	HP REAL RACING	9.5	-54	1	0.5	0	0	3	5	0
9	31,32	NAKAJIMA RACING	4	-59.5	0	0	0	0	0	0	4
10	18	KCMG	0	-63.5	0	0	0	0	0	0	0
11	62	TOCHIGI Le Beausset Motorsports	0	-63.5	0	0	0	0	0	0	0
12	34	DRAGO CORSA	0	-63.5	—	—	—	—	—	—	0

※太字は優勝、P.P.ポイントはドライバーズのみ

全戦が有効

※このランキング表は、SFウェブサイト制作班が計算した非公式なものです。

■選手権ポイント	順位	順位								
		Rd.	1	2	3	4	5	6	7	8
予選	1-7	1								
	1,3-6	10	8	6	5	4	3	2	1	
レース	2,7	5	4	3	2.5	2	1.5	1	0.5	
	7	3								

☆ドライバーズポイント

第7戦鈴鹿に限り、第1・第2レースの勝者には通常ポイントとは別に3ポイントが与えられる。

☆チームポイント

各チームに所属するドライバーの獲得ポイントを合計。2台以上の車両が所属する場合は、上位2台分を合計。チームポイントには、ポールポジションのポイントは与えられない。

※複数のドライバーまたはチームが同ポイントの場合、1大会の高得点を得た回数が多い順に順位を決定する。